AN AMERICAN CLASSIC

Zippo®

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE

VOL.5

ジッポー・ホットニュース・スペシャル 2000秋冬号 AUTUMN/WINTER



第5回ジッポー／ケース・インタナショナル・スワップミート速報

●ZIP-TALK 油井昌由樹●第3回東京スワップミート開催詳報●2000ジッポー・ライター新製品ガイド●ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッション



ウォーム・ハーツ・ストーリー

「ブラドフォード点描」⑤　セント・バーナード教会

石造りの教会が市内に点在しているブラドフォード。アメリカのどの町でも見かける風景だが、その数は人口に比して多いように思われる。

これは、中心街メイン通りの近くに位置するセント・バーナード教会。窓には精巧につくられたステンドグラス。祭壇に飾られたカラフルな花。日曜の朝ともなれば、聖なる善男善女が一堂に会する。あたたかい心を大切にする「クール・タウン／ウォーム・ハーツ」(Cool Town：Warm Hearts…)を合言葉にした、ブラドフォード市民の心の拠りどころのひとつでもある。

もちろん、ジッポー社の創業者ジョージ・G・ブレイズデルも敬虔なクリスチャンで、日曜には教会に姿を

CONTENTS

[ブラドフォード点描⑤] セント・バーナード教会 2
第5回ジッポー/ケース・インタナショナル・スワップミート 4
開催決定！ 第3回ジッポー東京スワップミート 9
[ZIP-TALK] 油井昌由樹 聞き手／岡本信義
「ジッポーは、いつも僕を語る」 10
[2000ジッポー・ライター新製品ガイド]
WORLD MODELS 12
JAPAN MODELS 14
ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2000 16
ジッポー・アウトドア・コレクション 19
[IT'S A ZIPPO STORY] ④ 煙が目にしみる／菊地昭典
[炎のフォーラム] 20
「自由の女神」トーチに着火
CS特番「Zippo club」放送開始
成田空港にジッポーの大型電飾パネル登場
一万人のドッジボール大会をアシスト
ショップ主催イベント盛況
「定禅寺 ストリート・ジャズ・フェスティバル」オリジナル・ジッポー発売
[頑小物] フィクスイット®の話 21
信頼のジッポー・ブランド／崔海圭 22
コレクター登場
紙上ジッポー・クリニック／指導：遠島栄利
ZIPPO SHOP TOUR
FROM ZIPPO 24

●表紙／ジッポー・ライターの仮装をした女の子（第5回スワップミートにて）

あらわすのを慣わしとしていた。仕事に追われ、顔を出せないスタッフがいたとき、「教会に行かないで、何をしているのだ」と叱咤したというエピソードさえ残されている。

そんな博愛主義は、第二次世界大戦を経た一九五〇年、社会福祉財団の創設に結実。その最初の仕事は、市への消防車の寄贈だった。以降、医療援助など、ハンディキャップのある人たちにあたたかい救いの手を差し伸べていったことは、いまでは有名な事実だが、当時は誰にも知られないようにひそかに行っていた。

世界のジッポー・ライターを生んだ町には、文字どおり「あたたかい心」がある。誰もが知り合いで、助け合っている。椅子にかければ誰もがやさしくなれるセント・バーナード教会も、ブレイズデルの生き方とつながっているのかもしれない。

INTERNATIONAL SWAP MEET

It all happened July 20-22, 2000
★ Bradford, PA

華やかに。二十世紀最後を飾る、第五回ジッポー／ケース・インタナショナル・スワップミート。

合言葉は、「ウェルカム・バック」。ジッポー本社の本拠地・ペンシルバニア州ブラドフォードに、世界のコレクターが帰ってきた。ジッポー・ライターとケース・ナイフのコレクターの合同スワップミートとして開催されてきた「ジッポー／ケース・インタナショナル・スワップミート」は、二年に一度の開催となり、今年で五回目。回を重ねるごとにイベントも盛大で多彩になり、日本からの訪問者もふえてきた。イベントの中心は、ビジターズ・センターに隣接するグラウンド。巨大テントが立ち上げられ、出展テーブルは二〇〇、登録者は八〇〇名に及んだ。一方、ダウンタウンでは「サマー・フェスタ」も併催され、あわせて七、〇〇〇人が街を訪れた。行き交う人たちと、「ハーイ！」と挨拶を交わした三日間、そこでは何が起こったか——。



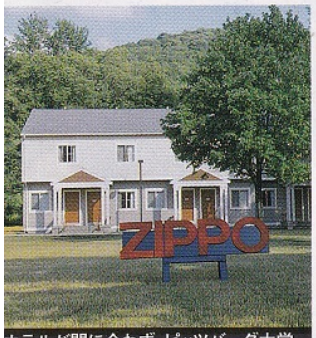
今回のスローガン


オークション風景



参加登録の出足は早い





ホテルが間に合わず、ピッツバーグ大学ブラドフォード校寄宿舎も利用


「ただいま準備中」のケース・コレクター



歴代のオイル缶コレクション展示



ビジターズ・センターとメイン会場

友との再会に話も弾むコレクターズ・デー

スワップミートに先駆けて実施されたのが、ライターのコレクター・クラブ「PLPG」「OTLS」、ケース・ナイフのコレクター・クラブ「CCC」の出展登録者を対象にした「コレクターズ・デー」。パーキングから電動カートで送迎サービスを受け、朝八時より登録を済ませたコレクターは、展示テーブルを思い思いにデ


美しい展示ブースと出展者

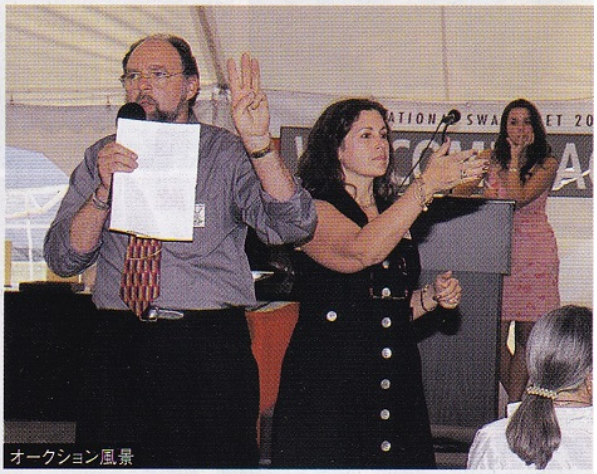


ジッポー/ケース・トレイン

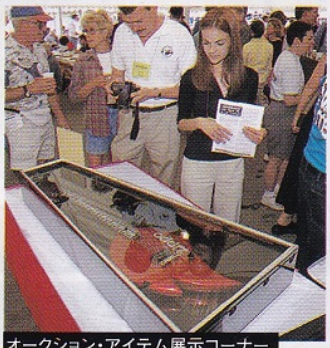


ジッポーがスポンサードしているレーシングカー

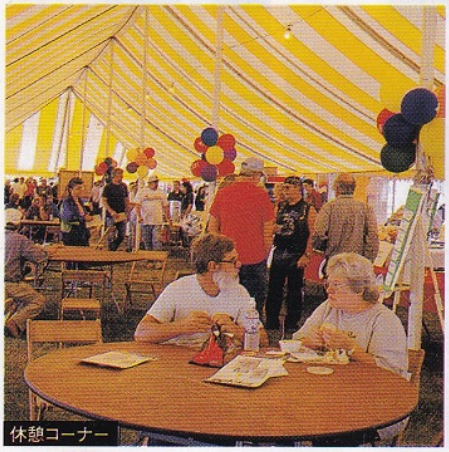

見事なテーブル・ライター・コレクション


オークション風景


ビジター・センター内ストア


オークション・アイテム展示コーナー


ごちそうズラリのクックアウト


休憩コーナー





特製「I'm a Zippo fan!」うちわ

イスプレーしながら、そのままスワップミート（交換会）に入っていった。おなじみの顔ぶれが多く、久しぶりの再会に「ナイス・ツー・ミート・ユー！アゲイン！」。

午後からは前回同様に、ジッポー・ライター、ケース・ナイフ、それぞれ工場の特別公開。つづいて、ホスト役のジッポー社とケース社の幹部が来賓者を迎えた、ケース社での屋外パーティ。地元メーカーが限定醸造した「ジップライト・ボール」「ケース・ビール」が振舞われ、翌日からの本番に備えるコレクターや仲間がビーフやチキンなどに舌鼓を打った。パーティ参加者は、約一、二〇〇名。ジッポー社副社長マイク・マーチンによれば、「最高の動員数のひとつに数えられる」。

オークションの最高落札価格は、ケース・ナイフの八、〇〇〇ドル

この日のハイライトは、コレクターズ・オンリーの「ジッポー／ケース・オークション」。主催者挨拶につづき、オークショナー、ロス・ポーターのリードで名品がつぎつぎにセリにかけられた。高値からはじまり、出発点を探る。お目当てのアイテムを狙うコレクターのまなざしは、真剣そのもの。流暢なコールに誘われ、つい手が上がる。

参考に、ジッポー関連アイテムの落札価格。ギブソン・ギター&ライター三、〇〇〇ドル、エアブラシの名手、クラウディオ・マジー作の「自由の女神」柄一、七五〇ドル、スワップミート・セット限定番号一番、一、一〇ドル、ローズアート・テーブルライター一、二〇〇ドル。六五年製ネイビー柄タウン&カントリー一、一五〇ドル、ミス・ウィンディ・コレクション九〇〇ドル、エルビス・プレスリー柄の試作品を含むコレクション九〇〇ドル。なお、このオークション最大の呼び物、ケース・ナイフ四十五点試作品セットは、下馬評通り、最高価格の八、〇〇〇ドルで競り落とされた。



スワップミート消印のポストカード



特設郵便局



会場風景



ケース・ケア・サービス



ジッポー・ウォッチなどを扱ったブティック・テント



スワップ・ミート風景



このビッグ・テントなら、突然のスコールも影響なし



セール・テント前は、いつも長い列



自著を手にするジム・フィオレラとそのコレクション

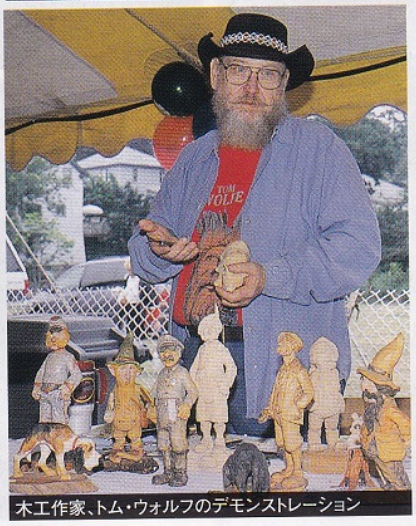


地元ラジオ局は、朝から生中継





珍しいジッポー・タイもさりげなく展示



木工作家、トム・ウォルフのデモンストレーション



エアブラシの名手、マジーとその作品のひとつ、パパロッティ・ジッポー



OTLS、ジュディス・サンダース

July 21-22
2000
National
Zippo Day

テントの下には、楽しみ満載。

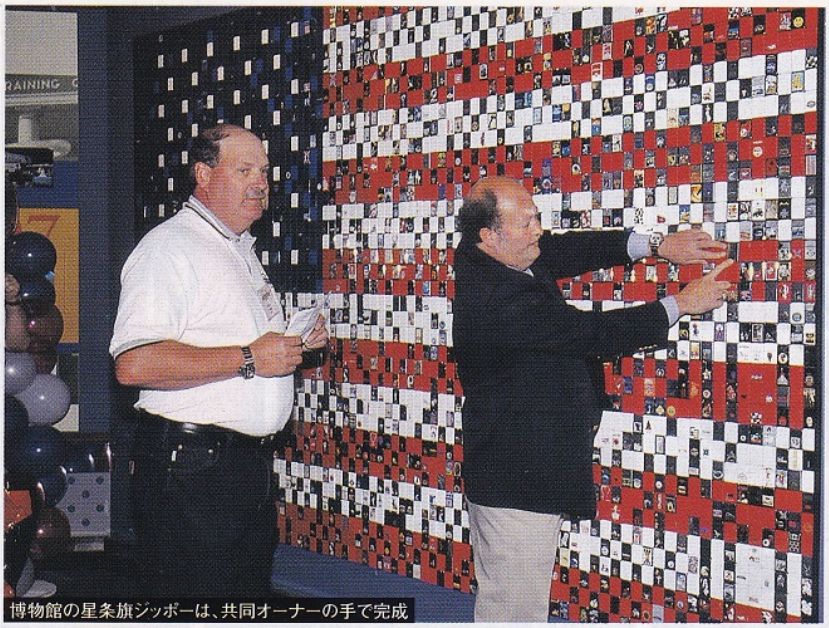
スワップミートの朝は早い。「ナショナル・ジッポー・デー」とされた一般公開初日。七時から記念ライター、キャップ、Tシャツなどを発売するビジター・センターや特売テント・セールにファンが押し寄せる。レプリカ型記念ライター（八五〇個）、ライター&ナイフ記念セット（二五〇セット）を発売。いずれも即日完売の人気だった。また、特売テントにはレジ前入口で行列ができ、バッグを手にして出てくるまでに一苦労。七時から会場で生中継された地元ラジオ局の番組に煽られたか、八時三〇分の開場までに会場は人の波となった。

さすが「最大のコレクション」

スワップミート会場のテントは、四種。二〇〇テーブルを擁した出展者用ブラドフォード・テントと、ジョージ・ブレイズデル・テントでは、やりとりが本格化。この日の午後からは「買う人」「売る人」「交換する人」でごった返した。コレクション自慢で見せるだけの「NFS」（Not For Sale）も多いが、さすが本場だけにコレクションはビンテージ物も豊富。「The Largest Collection」のキャッチ・フレーズに偽りはない。「名品」を格安でゲットした向きも多い。展示者にはアンティーク・ショップの夫婦コンビが多く、旦那がどこかに行っていると、値段を尋ねても「私には、わからない」。会場には「ベトナム・ジッポー」などの著者ジム・フィオレラやデイビッド・プーアら有名コレクターの顔も見える。OTLSのジュディス・サンダースも相変わらず愛嬌を振りまいていた。

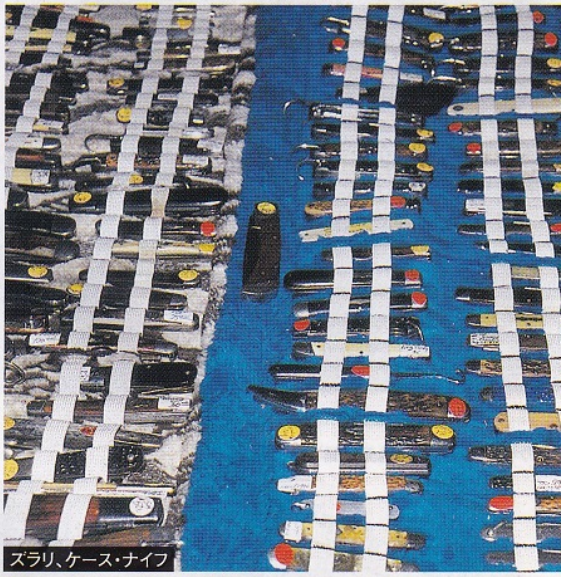
エアブラシ、木工の名手の実演も…

つぎは、ジッポーがスポンサードしたNASCARのレーシング・カー展示を中心にした


博物館の星条旗ジッポーは、共同オーナーの手で完成



ジッポー・カーとツーショット


ズラリ、ケース・ナイフ


スワップミート限定Tシャツ&キャップ


ジッポー・ハットも登場

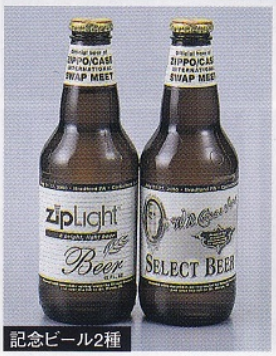

CMのセットに使われた「自由の女神」のトーチ



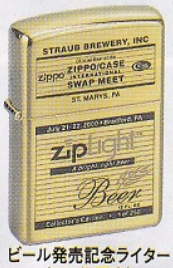
スワップミート記念ライター



スワップミート記念セット



記念ビール2種



ビール発売記念ライター
(250個限定)



キャメル・コレクション


オール・ミントのタウン&カントリーを持つデイビッド・プーア

モーター・スポーツ・テント。ここではエアブラシ・アーティスト、クラウディオ・マジー（イタリア）、長年のケース愛用者である木彫作家、トム・ウォルフのナイフ彫刻実演、それぞれ絶妙な手さばきを披露。このテントでは、多くは研磨を求められたケースのナイフ・ケア・サービス、ジッポー／ケース・トレインの展示も話題を集めた。

さらには、出展登録を行うウィリアム・ラッセル・ケース・テント。登録者にはさまざまなグッズが提供され、ジッポー・ロゴ文鎮や「ヨーa Zippo fan!」と洒落たうちわも登場。オイル缶ヒストリーを語る缶コレクションや、木製の巨大ケース・ナイフは見ごたえがあった。フアンの質問に答える、ジッポー博物館リンダ・ミーボーン女史の姿もある。同テントは軽食サービスを行っており、コーヒー&ドーナツ無料コーナーも…。

一日中楽しめる多彩なイベント。

また、ビジターズ・センター前には、新作CMなどが見られる大型モニター・テレビ、その新作「ナイト・ウォッチマン編」に使用した「自由の女神」のトーチ部分の原寸セットをお披露目。新製品の腕時計やサングラスなどを販売する「プティック・テント」、スワップミート記念スタンプ付きの切手を販売する特設郵便局もオープン。スワップミート名物となったジッポー・カーも展示され、記念写真撮影で人気。専用トレーラーには「もし、このクルマが見られないときは、ビジターズ・センターにいる」とある。

ビジターズ・センター内では、ジッポー二、三九三個でつくったアメリカ国旗の最後の一個を飾るセレモニーが行われ、共同オーナーのジョージ・デュークが手にした「ファウンダー・モデル」で完成した。館内では「ジッポーをテーマにした写真展」も開催されており、ユニークな作品の一部は、地元紙「ブラドフォード・エラ」に紹介された。


尻にZIPPO、CASEのワンちゃん


モーターサイクル・ファン・ランのスタート場面


ジッポー写真展より


スワップ・ミート風景




ジッポー・カー前で、オーナーふたりがニッコリ


売店が建ち並んだダウンタウン


新アイドル、スリックくん



ダウンタウンでも記念ライターづくりが活発

そのサクセスを報じる地元新聞




元従業員、ジョーのワイドな展示ブース


テント内は、人、人、人…


凝ったディスプレーもあちこちに

そして、二五〇台に及ぶハーレー・ダビッドソンのモーター・スポーツ・ツーリングもコングレス工場からスタート。市内のメイン通りに入れば、サイド・ウォーク・セールでにぎやか。アンチック カー・パレードやアート・フェスティバルなどが企画され、催しも多彩な「ブラドフォード・サマー・フェスタ」だった。このダウンタウンでは新キャラクター「スリック君」も登場、記念ライターのボディも飾っていた。

最終日は、花火大会でクロージング。

最高の人出を呼んだ第三日目。すでに記念ライターは「倍の六〇ドルで売ってあげようか」の声が聞こえてくる。地元商店会の「ガゼボ」四年連続柄シリーズは、今年で完結。商店主がその同一ナンバー刻印セットを自慢げに見せる。

人口二万人ほどの小さな街をジッポー・ファミリーが埋め尽くした三日間。突然のスコールには一瞬驚かされたが、このユニークなイベントは、ケース社から打ち出される花火で幕を閉じた。

このイベントはジッポー、ケース両社から二十五名と数多くのボランティアで構成された実行委員会の周到な準備があった。開催前の三週間はミーティング漬けだったというマーケティング&コミュニケーション部長、バット・グランディは「ことしは過去最高の登録者があり、世界三〇カ国からお客さまをお迎えしました。みなさんが喜んでいらっしゃる様子を目にして大変満足しています」。記念ライターの数量が足りないの声には、「つくりすぎても価値がなくなりますから」とあっさり。

ついで、社長&CEOのマイク・シューラーは、「ことしは大規模で、大変にぎやかでした。コレクターの方々はいつにもまして熱心で、ライターとナイフの両方を集めている方がふえたこともおもしろいことです。開催には多額の費用を要しますが、われわれの三〇%はコレクターにより購入されており、その感謝の意

開催決定!

第3回ジッポー東京スワップミート

Zippo®
TOKYO
SWAP MEET
2001

できるなら、まるごと持って帰りたい。

2001年春、全国のジッポーファンは新宿・副都心に! 世界のファン注目のスワップミート

●パブリック・デー　3/24(土)13:00~18:00　3/25(日)10:00~18:00　入場無料
●コレクターズ・アワー　3/24(土)9:00~13:00(入場は12:00まで)　入場料1,000円(税込)

会場/「スペースセブン」イベント広場

〒163-0701　東京都新宿区西新宿2-7-1(新都庁舎隣り・ホテルセンチュリーハイアット横)　TEL.03-3342-1830
●交通/電車—JR・京王・小田急・地下「新宿」駅から徒歩10分(動く歩道あり)。地下鉄鉄丸の内線「西新宿」下車すぐ。
車—青梅街道・甲州街道(国道20号線)近く。新宿中央公園側道路は首都高速4号線ランプに通じる。有料駐車場(B1-B3)あり。

楽しみは、ライターだけじゃない。見もの、聞きもの、すべてがボリウムアップ!

●必見! コレクターズ・ブース●有名ショップ即売会●ジッポー・ギア・テーマ・コレクション●ライセンス・コーナー●スペシャル展示●スワップミート限定グッズ販売●オーナー/社長・握手&サイン会●ライター修理&刻印無料サービス●オークション●ジッポー着火コンテスト●ものしりクイズ●プレゼント付アンケートコーナー●その他、当日のお楽しみ!

大迫力!! ジッポー・レーシング・チャレンジ

実際の耐久レースマシン・アルテッツァのギア、ハンドルを握り、アクセルを踏み込む。大画面スクリーンに映しだされたコースの走行は大迫力! 3ラップでチャンピオンをめざせ!

※イベントの内容は変更する場合があります。
※最新情報は、日本版ホームページ(http://www.zippo-japan.com)でご案内しています。

出展者大募集!

※くわしくは事務局までお問い合わせください。

コレクターズ・ブース(2日間出展)

●特典/1小間出展につき出展者証2名分提供。特製記念ライター1個贈呈。記念グッズ優先予約。ジッポー・ゾーン(ライセンス・グッズ)での特別割引。パーティ&オークションの参加予約(有料)●参加料/1小間8,000円(消費税別)★基本小間/1小間:間口1.1×奥行1.2m/テーブル1/2・イス2脚/その他:各自持ち込み、音源は不可。

ショップ・ブース(2日間出展・1ショップ2小間まで)

●特典/1小間出展につき出展者証4名分提供。特製記念ライター1個贈呈。記念グッズ優先予約。ジッポー・ゾーン(ライセンス・グッズ)での特別割引。パーティ&オークションの参加予約(有料)●参加料/1小間70,000円(消費税別)★基本小間/1小間:間口2.4×奥行1.4m/仕切りパネルあり、背面パネルに社名・所在地表示、テーブル1本、イス2脚、電源(コンセント)2/その他:各自持ち込み、音源は不可。

出店しない方の参加申込も歓迎!

コレクターズ・アワー(入場料1,000円・消費税込み)

●特典/3/24(土)9:00~13:00の優先入場/記念グッズ優先予約、ジッポー・ゾーン(ライセンス・グッズ)での特別割引/パーティ&オークションの参加予約(有料)

ジッポー東京スワップミート事務局
〒461-0001 名古屋市東区葵3-25-15 ミズホビル202号
TEL.052-934-0731　FAX.052-934-0502


連番入り限定
純銀ライター


ダウンタウンの4柄連続シリーズ。番号ぞろいと自慢の店主


笑顔で答えるマイク・シューラー社長


フィナーレの打ち上げ花火

を表す機会として価値があると考えています。今後も、二年に一度の開催には変わりはありません。次回は二〇〇二年(七月十八日より三日間)で、創業七〇周年にあたり、祝賀行事も予定しており、大変興味深いものとなるでしょう」。それに先駆け行われる第三回東京スワップミート(二〇〇〇年三月二十四日~二十五日)については、「前回も大盛況でした。より大きくなってゆくことを期待します。コレクターの方々の期待も大きいと聞いています」。

ZIP-TALK 5

世界でただひとりの夕陽評論家、油井昌由樹。黒澤映画の常連俳優として、またハリウッド俳優として数々の映画にも出演。「モノが、僕自身を語る」――東京・西麻布にかまえられた、氏の城・スポーツトレインでは、次々とオリジナルグッズが生まれている。ジッポーに対するこだわりも、当然一流。夕陽への想い、モノへの想い、アウトドアへの想いを胸に、幅広く活躍する氏が過去、そして未来を熱く語った。



ジップトーク5

ジッポーは、いつも僕を語る。

アウトドアの草分けが認めたジッポー

油井昌由樹（夕陽評論家）　聞き手／岡本信義（ジッポー社日本代表）



アウトドア、草分けの誕生

岡本　僕は七〇年代にジッポーに関わり、当時の雑誌広告に、有名な方のジッポーを掲載させてもらったんですよ。そのときにスポーツトレインのジッポーも紹介しました。アウトドアなんてまだ知られていない頃で、草分けとしての油井さんをはじめて知りました。

油井　スポーツトレインは、一九七二年にオープンしました。外にアウトドアショップって書いてあるんですけど、当時、店に入ってきた人が「恐れ入りますが、アウトドアって何ですか」って聞いてくるわけですよ。いかにアウトドアが浸透してなかったかがわかりますよね。

岡本　どうやって、アウトドアというものを知ったんですか？

油井　もともと、毎晩、赤坂で遊んでるような都会っ子でした。当時、ビブロスっていう、今でいうクラブができて、そこにGIがいっぱいいました。まだ十代でしたから、彼らとつき合うことが楽しくて仕方なかった。入場に必要なキーチェーンのついたコインを、学生で持っていたのは僕ひとりだけでしたね（笑）。

岡本　ずいぶん大人びてたんですね。

油井　そうです（笑）。ジッポーにはその頃出会いまして、彼らともよく交換しました。でも、一九七〇年にベトナム戦争が終息にむかって、ハノイから十万人が撤兵することになりまして。そうしたら、東京にGIがひとりもいなくなっちゃった。赤坂が、火を消したように急につまんなくなったんですよ。

岡本　雰囲気がつくれないわけですね。

油井　でも、そこで気づいたんですよ。なんだ、むこうに行けば会えるじゃんって（笑）。それで世界一周の旅に出たんです。

岡本　二十二、三歳で？

油井　ええ。最初に飛行機からアンカレッジを見たときに、なんてすてきな所なんだろうって思って、そこで無理矢理降ろしてもらった（笑）。思ったとおり、街はとにかく最高でしたね。スーパーマーケットに、ワークブーツだとか、コールマンのストーブだとかが普通に売ってるんですよ。

岡本　今でこそ、このへんにいっぱいあるようなものがね。

油井　ビックリしちゃった。スタンレーのアックスだとか、ボーンのナイフだとかあるわけじゃないですか。金がないのにみんな買い求めて、フレームザックに詰め替えて、ヒッピーたちといっしょに、いきなりマッキンレイに登った。

岡本　それまで登山の経験は？

油井　いや全然（笑）、大嫌いでしたから。もう完全に都会とさよならですよ。それでその格好のままヨーロッパに行ったら、そこでみんなが僕の持ってるものをほしがる。憧れていた連中が、お前の持ってるものはいいとか、かっこいいって言うんですよ。そうすると、俺ってセンスいいのかなって思っちゃった、まだ若いし（笑）。

岡本　どこに行っても注目の的ですね。

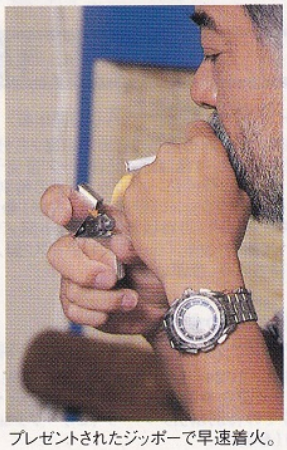
油井　七一年、日本に持って帰ってきたら、やっぱりみんなほしがりますよね。それなら、ということで、レミントンのタイプライターで手紙を打って現地に送った。

岡本　貿易がはじまったわけですね。

油井　それがスポーツトレインのはじまりです。

岡本　そのときに道具といっしょに、アウトドアという言葉も輸入した？

油井　世界中を旅する間にアウトドアという言葉を自然に使うようになっていましたけど、


プレゼントされたジッポーで早速着火。

油井昌由樹／夕陽評論家。スポーツトレインを約30年前にオープンした、アウトドアブームの先駆者的存在。黒澤明監督「影武者」で役者デビュー。TV、CM制作、イベントプロデュース、FM番組のパーソナリティなど、その活動は多岐にわたる。スポーツの中ではとくに乗馬好き。機会さえあれば、「ひらりとまたがって」走る腕前。著書に「アウトドアショップ風まかせ」(晶文社)など。11月には、世界文化社よりアメリカの道具に関する本も出版予定。



油井さんの著書「サンセットの旅人」と、ディッピング・ジッポー、岡本代表からプレゼントされた#15スターリング・シルバー。

日本にはまだありませんでしたからね。

岡本　あの頃は、ジーンズとTシャツ、いわゆるアメリカン・カジュアル・ルックっていうのが流行りだした頃で、ちょうどそれと重なったんですね。

油井　学生の頃、服飾デザイン研究会っていう全国組織の企画をやってたんですよ。だから洋服のことは詳しかったし、各メーカーにも注目されていた。何をやっても話題になっていたので、ラッキーでしたね。

岡本　若い頃から多才だったんですね。都会で育ったのに、まったく逆のアウトドアの商品に惹かれたり……。

油井　逆に田舎で育っていたら、たぶんスタンレーのアックスをいいとは思わなかったでしょう。日本にもいい道具があるのに、たまたま西洋の野外道具から入ってしまった。

岡本　だから余計に、コールマンに惚れてしまったんですね（笑）。



ジッポー社日本代表／岡本信義

新しいカタチをめざして

岡本　オイルライターの会社もやられたことがあるとお聞きしましたが……。

油井　スポーツトレインをオープンする前に、オイルライターの会社をつくりたくて、相棒といっしょに興しました。それから、自分が持っていたジッポーを研究したんですよ。けど、どれひとつとってもかなわない（笑）。バラしてみると完成度が高すぎるんですよ。これは真似できないということで、ジッポーを売ることにしました。

岡本　さすが、完成度が高いということがわかるわけですね。

油井　ほかのオイルライターもバラしたんですけど、やればやるほどジッポーなんですよ。

岡本　それはいい話ですね（笑）。

油井　結局、ジッポーを超えるライターをつくることができなかった。

岡本　スポーツトレイン・ジッポーは、かわいくて好きです。

油井　（オリジナルのジッポーを取りだして）これはディッピング・ジッポーっていうんですけど、今はこれを商品化できるようにがんばっています。少し問題もありますが、伝統的な生涯保証の作品みたいなものですから、いいカタチで実現したいですね。

岡本　スポーツトレインには、他にもオリジナル商品があるそうですが。

油井　（バッグを取りだして）まだ試作段階ですが、このトートバッグはオリジナル商品です。



スポーツトレインで、オリジナルトートバッグを手に。

岡本　ジッポーでは、ライター以外の商品もアウトドアという方向性をめざしています。

油井　おもしろそうですね。ジッポーそのものが持っているサバイバルのイメージを全面に出していければと思います。僕も来年、「都会こそ、究極のアウトドア」というスローガンで、子どもたちのためのカリキュラムをはじめるんですよ。子どものうちにできることってたくさんあるじゃないですか。でも今は親がどうしていいかわかんない。

岡本　アウトドア・スクールというイメージですか。

油井　そうです。子供服もそうですけど、子どもを自由にしない服が多い。大人のものを小さくしてるだけ。そこで子ども用のカッティングをした子供服をはじめたんですよ。そこからはじまって、子どもたちの体力的な部分も考えていこうと。

岡本　子どもの基礎体力ということですね。

油井　その中に、火の扱いというのもあります。子どものうちは覚えるのが本当に早いですし、そういうことが普通に身につくことをめざしていきます。

岡本　子どもの教育というのは大切ですからね。

ジッポーと夕陽

岡本　ほかに、俳優やナレーションもやられていらっしゃるし、本当にいい生き方をしているなと感じます。

油井　僕はいつも、何に関してももっとできるはずだって思っています。ずっと青春やってる気でいるから。でもラッキーなことが一番ですけど（笑）。

岡本　夕陽評論家の活動はいかがですか。

油井　夕陽評論家になったのは一九八〇年。世界にひとりということで、「ウォール・ストリート・ジャーナル」にも載りました。ビル・クリントンよりも記事がでかかったんですよ（笑）。

岡本　どこの夕陽が究極だと思いますか。

油井　胸を張って究極と言えるのは、僕の事務所から見える夕陽ですね。旅の夕陽の楽しみ方というのもありますけど、昨日はどうかな、ちがう季節はどうかなという、すばらしい夕陽と言いきれない部分がどうしてもありますから。

岡本　いろいろ世界を回りましたが、僕は大陸の夕陽が好きですね。

油井　僕がジッポーを好きな理由のひとつとして、いつも使っているジッポーは僕が染み込んでいる特別なもの。僕がいなくなったあとも、これが僕を語る。モノ自体が録音装置になってるわけですよ。

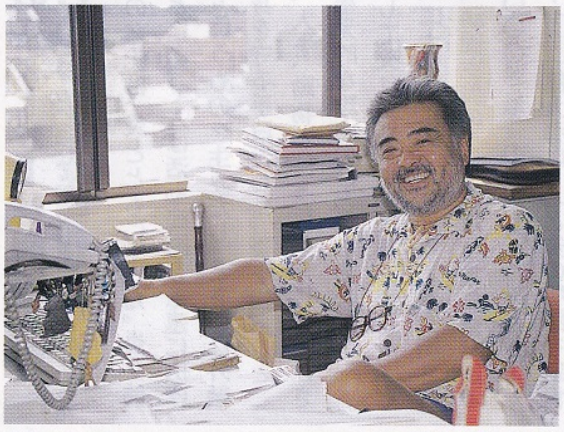
岡本　（油井さんのジッポーを手に取り）このジッポーには、油井さんの汗の匂いが染み込んでる。

油井　オイルの匂いには負けますけど（笑）。夕陽はその対極にあって、その日の夕陽はその日しかないわけですよ。はかなさの極致みたいなもので。だから、現実のモノに対してバランスが取れてると思います。

（二〇〇〇年八月八日／東京・西麻布にて）



飾られた写真の中には、黒澤監督からのメッセージも。



“究極の夕陽”が見える事務所にて

ZIPPO LIGHTER COLLECTION

WORLD MODELS

NEW 2000

そのとき人は、炎を手にした。



KEEPER OF THE FLAME

2000 LIMITED EDITION COLLECTIBLE OF THE YEAR





2000年特別ボトム・スタンプ

炎のストーリーを回顧する、二〇〇〇年限定製作ライター。

人の進化は、炎とともにあった。炎を使うことによって人は活動範囲を急速に広げ、料理というものを生みだし、ときには外敵から身を守る手段とした。炎を操ることこそが、人を、動物とはちがう進化を遂げさせた根元的な理由のひとつなのだ。

そして火は、近世に「携帯できる火」となり、二十世紀に入ってライターが発明されると、頑固主義のジッポーが主役に躍り出る。

二〇〇〇年最後の「コレクティブル・オブ・ザ・イヤー」第九弾は、人と炎の物語を新世紀につたえる「キーパー・オブ・ザ・フレーム」(C2000／六、〇〇〇円／特製缶入り)。名品#200ブラッシュ・クローム・モデルをベースに、原始を回帰する炎の本革メダリオン付き。そのアンティーク・ブラス・フレーム仕上げや特別ボトム刻印も魅力。

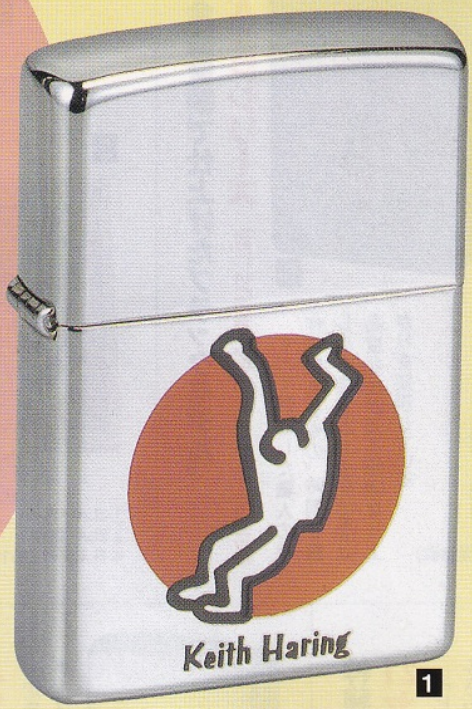
いま、世界限定十万個で、新たな「炎の番人」を待ち受けている。

※本ページのお問い合わせは、伊藤商事(株)☎03-3562-5811・マルカイコーポレーション(株)☎06-6443-0072まで。

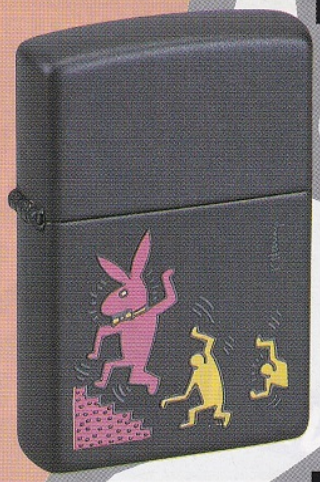
ポップ・アートの巨匠、キース・ヘリング、ついに現る。

KEITH HARING COLLECTION

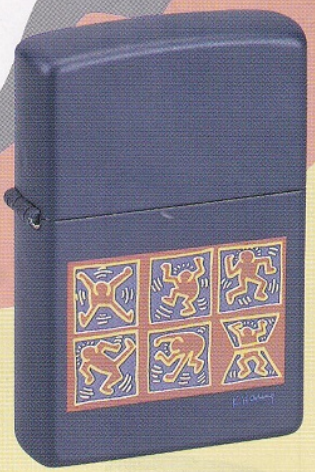
キース・ヘリングのイラストに、なじみのあるジッポー・ファンも多いだろう。アメリカン・ポップ・アートの巨匠として、シンプルなラインを活かした独特のタッチは、数多くのファンをいまも虜にしてはなさない。今回の発売にあたっては、ハイポリッシュ・クローム、ブラック・マット、ネイビー・マット、ブラッシュド・クロームと、仕上げもイラストに合わせてじつに多彩になっている。



1



2



3



4

①250SEL592
②218SEL594
③239SEL596
④200SEL599
※各モデルとも5,200円



スリーブ

※お問い合わせは、マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。

JACK DANIEL'S 150th BIRTHDAY

ジャック・ダニエル生誕150年記念モデル

創始者の志はいまも、ウイスキーに生きている。

「ジャック・ダニエルズ」の生みの親、Mr. Jack Danielの一五〇回目の誕生日を記念したモデル。ジッポーと同じく、ジャック・ダニエルズでは創始者である彼の志が脈々と受け継がれている。

N0.100JD150／8,000円
※シルバープレート



※お問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811

ZIPPO/CASE COMMEMORATIVE SET

ジッポーとケース・ナイフ、待望の競演作、誕生。

レッドボーン・ギフトセット
30,000円





ジッポーとケース・ナイフの三、〇〇〇個限定リミテッド・エディションがいよいよ誕生した。蓋の表裏、背表紙に「POCKET WORN」とレーザー刻印されたオーク・ブック・ボックスには、ふたつのブレードを擁するケース・ナイフ「62311SSカヌー」、そしてナイフと同様にオールド・レッドボーン（鹿の角）・カバーのジッポーが収められている。それぞれにシリアル・ナンバーが刻印されたこのセットは、まさに、コレクター魂をくすぐる逸品と呼べるだろう。

ZIPPO LIGHTER COLLECTION

JAPAN MODELS NEW 2000

日本発のデザインが、世界を動かす。

これぞ日米職人芸の結晶。ジャパネスク JAPANESQUE

「金運龍」は伝統を守る職人による手づくり。「古銭 寛永通寶」は一七六八年から一八六八年まで使用された通貨が貼りつけられている。どちらも桐箱入り。



①2LA-KR
②2LA-ZENI
※各モデルとも10,000円

全面塗装で仕上げたブラックモデル。ASPシリーズ ALL SURFACE PAINTING SERIES

すべて熟練した職人の手作業によるもの。時間を惜しまず施された全面塗装は、高度な技が光る細緻な仕上がりを実現している。



③2ASP-NEN／6,000円
④2ASP-ZEN／6,000円
⑤2ASP-CHI／7,000円
※各モデルともASP（全面塗装）

懐かしき時代のデザインをここに復刻。クラシック・コレクション CLASSIC COLLECTION

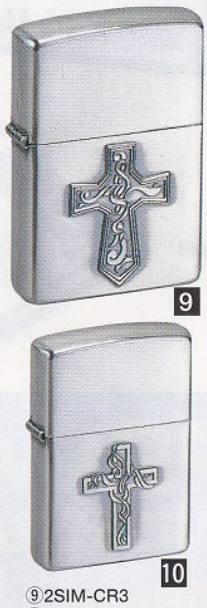
四〇年代のジッポーに描かれた「ジッポーカー」や「スポーツ・シリーズ」。懐かしい時代のデザインをそのままに、現代版として復刻したモデル。



⑥200ZCAR
⑦200KJ
⑧200DOG
※各モデルとも彫刻・4,200円

他とは一線を画したインパクト・デザイン。メタル・シリーズ METAL SERIES

定番のクロスメタルがボディを彩るシリーズ。渋い輝きを放つこのジッポーは、個性を強烈にアピールしたいファンにオススメ。



⑨2SIM-CR3
⑩2SIM-CR4
※各モデルともエッチングプレート貼り・8,000円

神秘的な動物をモチーフにした21世紀デザイン。21センチュリー・シリーズ 21st CENTURY SERIES

ヘビ、ツチノコといった神秘的な動物をデザイン化。新世紀を迎えるにふさわしい、シンプルなイラストがシルバーのキャンバスに映える。



⑪21ST-SNK
⑫21ST-TNK
※各モデルとも6,000円

新たな技術で、一つひとつちがう仕上がり。コンバット・シリーズ COMBAT SERIES

ベトナム戦争時、多くのアメリカ兵によって持ち込まれたジッポー。過酷な状況下での精悍なイメージをまったく新しい加工法で再現。



⑬2UDN-ARMY
⑭2UDC-NAVY
※各モデルとも5,500円

その笑顔が、新たなブームの兆し。スマイリー・シリーズ SMILEY SERIES

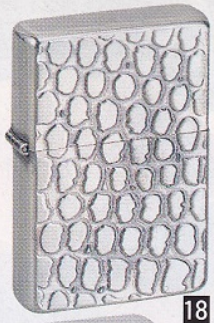
一九六八年、フランスの新聞記者フランクリン・フラーニが楽しい記事につけたスマイルマーク。そのポップでキュートな笑顔がジッポーにリバイバル。

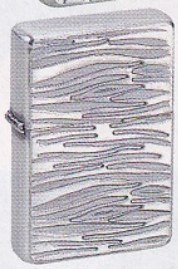


⑮2SML-2001S／7,000円
⑯2SML-2001B／7,000円
⑰16SML-Y／6,000円

表情のちがいがコレクト魂をくすぐる。

丁寧に、情熱を込めて施された彫刻が魅力のジッポー。一つひとつがちがう表情を持つので、コレクトする愉しみもまた格別。


18


19

⑱23SI-CR　⑲23SI-TG
※各モデルとも彫刻・10,000円

愛煙家のマナー、プライドとして、吸い殻は捨てない。

ハンディ・クリーン・ケース
HANDY CLEAN CASE



⑳ZHC-1000W／1,000円
㉑ZHC-2000BK／1,000円

ジッポーといえば、ウィンディ。

ウィンディシリーズ WINDY SERIES



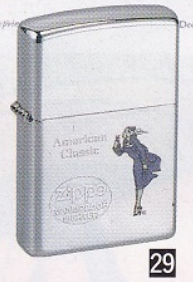
三〇年代末、ジッポーの広告に登場した女性、ウィンディ。多彩な色の服をまとい、いま、その美しさが再現された。

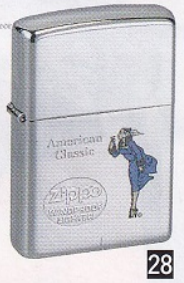
27

26

25


30


29


28

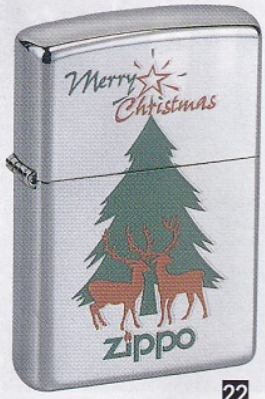
No.250W
㉕レッド　㉖ピンク　㉗イエロー　㉘ブルー　㉙ネービーブルー　㉚グリーン
※各モデルとも5,000円

今年のクリスマス・プレゼントはこれで決まり！

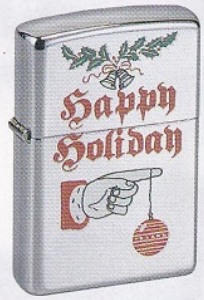
クリスマスシリーズ CHRISTMAS SERIES

クリスマスを演出するキャラクターがモチーフ。大切な人と過ごす聖なる夜、ジッポーでキャンドルと心に灯をともす。


23



22



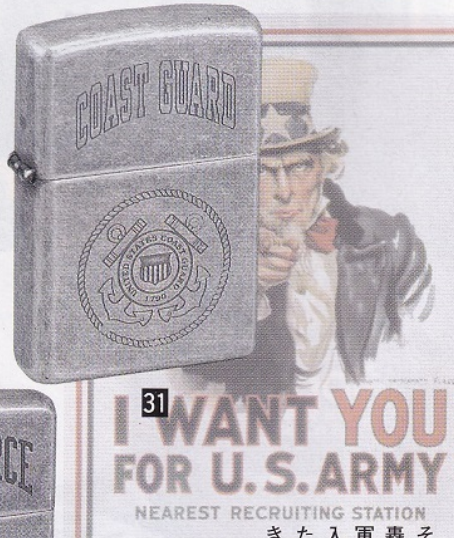
24

No.250MC
㉒トナカイ
㉓キューピット
㉔ハッピーホリデー
※各モデルとも5,000円

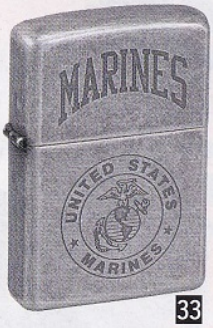
最強のライター・ジッポーに、最強のエンブレム。

ミリタリーシリーズ AMERICAN MILITARY SERIES

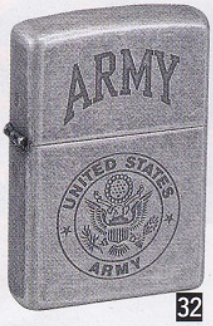
陸・海・空を制し、その名を世界中に轟かせたアメリカ軍隊のエンブレム入り。誇り高い男たちの魂を共有できる逸品。



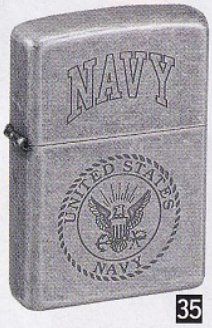
31



33



32



35

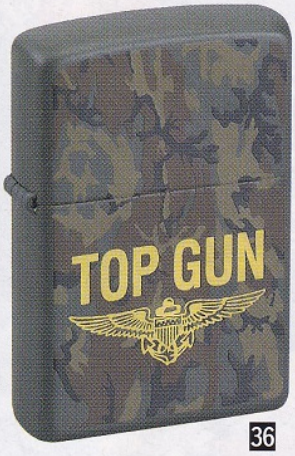


34

No.121
㉛COAST GUARD
㉜ARMY
㉝MARINES
㉞AIR FORCE
㉟NAVY
※各モデルとも6,800円

空軍のエリート集団。

トップ・ガン TOP GUN



36

㊱No.219TOP GUN／6,000円

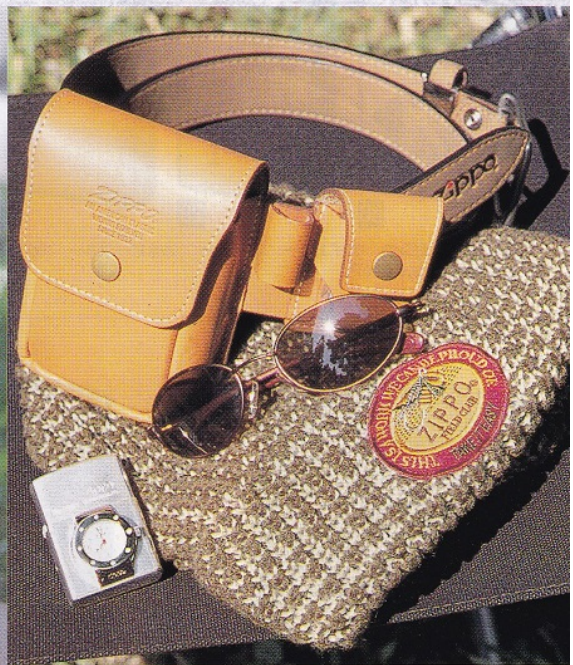
※お問い合わせは、
①～㉑／マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072
㉒～㊱／伊藤商事（株）☎03-3562-5811　まで。

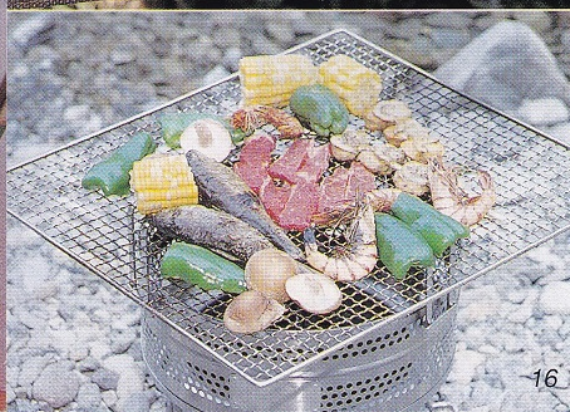
ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2000



それぞれに継承された不滅のコンセプトが、フィールドにむかう新たな力をくれる。

靴、帽子、レザーグッズ、時計、サングラス、アウトドア・ギア——「ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ」のアイテムには、不滅のジッポー哲学が確実に受け継がれている。二十一世紀にふさわしい定番アイテムが魅了するのは、ジッポー・ファンの心だけでない。





OUTDOOR SHOES

歩く、走る、跳ぶ、守る。
アウトドアでその機能をフルに発揮。



●アウトドア・シューズ
①ワーク・ブーツ No.5720／6,900円（プレーンタイプ、グッドイヤー・ウェルト製法、カラー：ダークブラウン・イエロー・グレー）
②ワーク・ブーツ No.5723／6,900円（モカタイプ、グッドイヤー・ウェルト製法、カラー：ブラック・レッドブラウン・ライトブラウン・サンドベージュ）
③ワラビー・ブーツ No.6900／7,800円（マッケイ製法、カラー：グレー・ブラウン）
問東邦レマック（株） ☎03-3834-4265

LEATHER GOODS

長い月日をかけて使い込むことで、
それは、きみだけの逸品になる。



●財布
①ZP-51／5,800円（牛革製）
②ZP-52／5,600円（牛革製）
●ポーチ
③ウェスト・ポーチZP63／5,000円（牛革製）
④シガレット・ジッポー・ケースZP-62／4,600円（牛革製）
問ヨシナガ（株） ☎03-3864-3834

CAPS & HATS

強い陽射しにも負けない。
アウトドアの可能性がまた広がった。



●キャップ&ハット
①キャップZP232／4,000円（素材：ファンシークロス、カラー：黒・茶・ベージュ）
②キャップZP214／2,500円（素材：ツイル、カラー：黒・白・カーキ・ベージュ）
③アポロZP236／3,800円（素材：コール天、カラー：ベージュ×オリーブ×茶、黒×グレー×茶）
④サハリZP237／3,300円（素材：オックス、カラー：黒・紺・ベージュ）
⑤サハリZP231／参考品（素材：ファンシークロス、カラー：ベージュ）
⑥ワッチZP247／3,800円（素材：ニット、カラー：黒・グレー・カーキ）
問中央帽子（株） ☎06-6972-8881

WATCHES

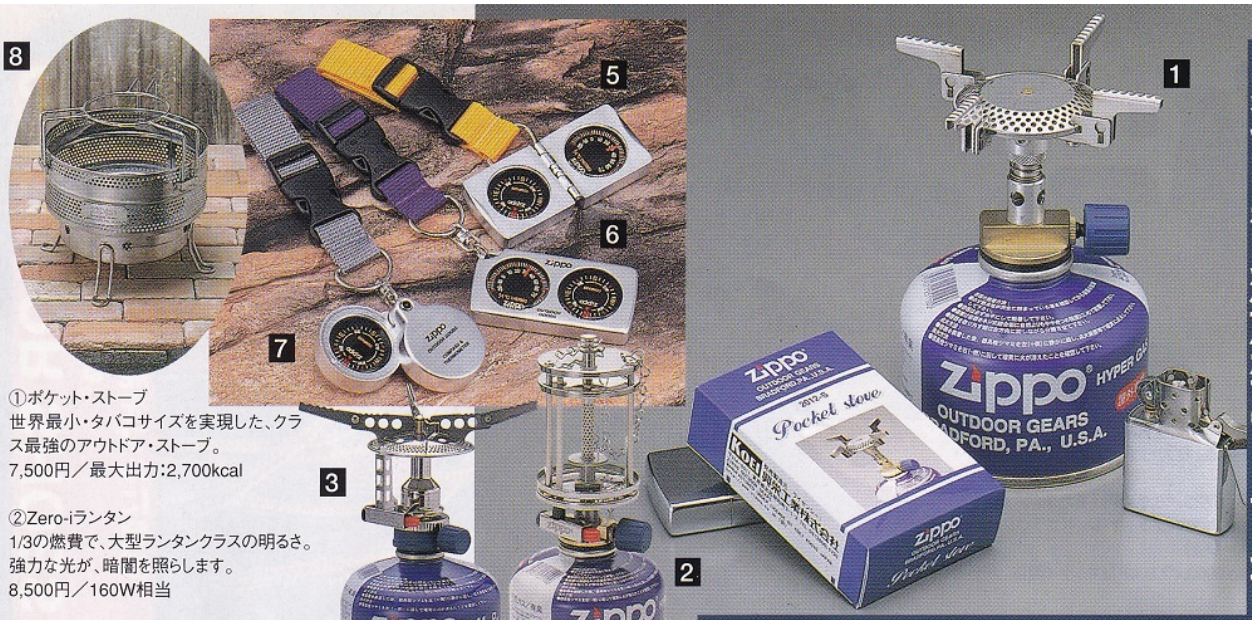
ただ、時を刻むだけではない。
そこには、ジッポーの精神が活きている。



●ウォッチ付きジッポー
①ミニチュア時計付きジッポーA／10,000円
●ウォッチ
②メタルプロテクト・リストウォッチAD-2／15,000円（5気圧防水）
③ハンギング・ウォッチ・フィールドライトFL-3／10,000円
④ポケット・ウォッチTP-2／4,000円
問（株）ヒューマンフレーム
☎03-3870-3111

OUTDOOR GEARS

機能第一主義の精神を受け継ぐ、これぞジッポーが生んだアウトドア・ギア。



①ポケット・ストーブ
世界最小・タバコサイズを実現した、クラス最強のアウトドア・ストーブ。
7,500円／最大出力:2,700kcal

②Zero-iランタン
1/3の燃費で、大型ランタンクラスの明るさ。強力な光が、暗闇を照らします。
8,500円／160W相当

③WPSガス・ストーブ
独自の新技術を搭載した、ガス・ストーブのフラッグシップ・モデル。
8,500円／最大出力:4,000kcal

④WPS-Sガス・ストーブ
パワー、安定性、使いやすさがさらに進化。使う場所を選びません。
12,500円／最大出力:4,200kcal

●フィールド・メーター
3種類のカラーが選べる、ベルト付きコンパス&サーモメーターセット。
⑤オープンタイプCT-2110／3,500円
⑥フラットタイプCT-2112／3,500円
⑦スライドタイプCT-2111／3,500円

⑧キャンピング・グリル
強力な火力と耐久性を実現した、ジッポーが生んだ世界最強のグリル。
グリルのみ／35,000円
バッグ付き／40,000円

問興栄工業(株)　☎03-3800-5720

SUNGLASSES & FRAMES

サングラスにはフィールドが、眼鏡フレームにはアーバンがよく似合う。



●サングラス
①ZP-202-2
②ZP-204-1
③ZP-205-1
※すべてオープン価格

●眼鏡フレーム
④ZP-120
⑤ZP-122
⑥ZP-123
※すべてオープン価格

問(株)サンリーブ　☎0778-52-1330

BELTS

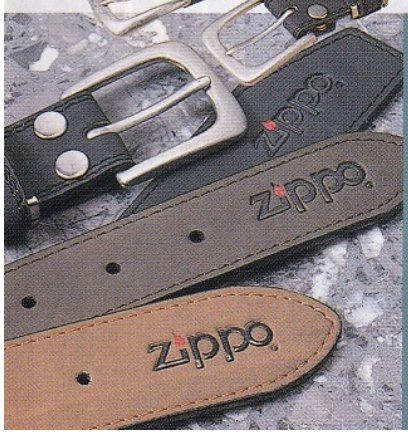
パンツに合わせて選ぶ愉しみ。大人のためのコレクションがまた揃った。



●布製ベルト
No.1581／各800円(カラー:生成、紺、ベージュ、モスグリーン、黒)

●合成皮革製ベルト
①ZP-1901／1,900円
②ZP-1903／1,900円
③ZP-1502／1,500円
④ZP-1503／1,500円

問(株)ファンス　☎06-6768-2831



SOCKS & TRUNKS

見えないところもジッポーでキメる。これがファンの、お洒落心。



●ソックス
抗菌防臭糸を使用した快適ソックス
11228／各340円(素材:綿、アクリル、ポリエステル／カラー:ブルー、ブラウン、グレー、チャコール)

●トランクス
底マチ仕様による、ゆったりしたはき心地　037-2605／2枚よりどり1,280円(素材:綿100%／サイズ:M・L・LL)

問福助(株)　☎06-6260-2154

すべては、ライターからはじまった。
ジッポー・アウトドア・コレクション

ジッポー・ライターの兄弟たちは、アウトドアに動きだした。風に立ち向かう伝統の機能第一主義は、フィールドに敵なし。その熱きスピリットはウォッチからキャンピング用品まで、多彩なアウトドア・コレクションに継承された。いま、ジッポー・ロゴは、さわやかな風のなかにある。



①サバイバルツール付きライター
ドライバー、六角ナット、スパナ、缶切り、カッター、ヤスリなど、多機能を極めたサバイバルツール付き。表面には緊急時に役立つGPS記号も記されている。SV-800　八、五〇〇円
問 伊藤商事㈱ ☎03-3562-5811

②ホイッスル付きライター
万一、事故によってあなたの命が危機にさらされたら…。自然のなかでは、人の声は遠くまで届かない。そんなとき、このホイッスルが頼もしいパートナーに変わる。2SWH　一〇、〇〇〇円
問 マルカイコーポレーション㈱ ☎06-6443-0072

③チタン製サングラス
超軽量で頑強、しかも耐食性にすぐれたチタン素材をフロント部に、すぐれた復元力をもつβチタンをテンプル部に採用。生産時期の刻印表示があるのもうれしい。ケース付き　二〇、〇〇〇円
問 ㈱サンリーブ ☎0778-52-1330

④ビームライト付きフィールド・ウォッチ
暗闇、悪路、悪天候――フィールドはいつも危険と隣り合わせ。ジッポーならではの頑強な時計から発せられる一筋の光が、あなたを安全な方向へと導いてくれる。FL-3　一〇、〇〇〇円
問 ㈱ヒューマンフレーム ☎03-3870-3111

⑤チタン製フラスコL、革製フラスコ・ケースL
耐食性にすぐれたチタン素材を使用。アルコールや栄養ドリンクを入れるのに最適。専用のケースはアウトドアにふさわしい、自然の風合いが活きる革製。
二、五〇〇円・四、三〇〇円
問 ヨシナガ㈱ ☎03-3864-3834

⑥ポケット・ストーブ
世界最小のタバコサイズ、クラス最強の最大出力二、七〇〇kcal。フィールドでの持ち運びにも便利な、本格派アウトドア・ストーブ。ガス・カートリッジ別売り。2013-S　七、五〇〇円
問 興栄工業㈱ ☎03-3800-5720

IT'S A ZIPPO STORY ④

煙が目にしみる

菊地　昭典

ジャズクラブ『ミスティ』は、目映い表通りからは隠れるように、路地裏のビルの地下にあった。コンクリートむき出しの階段を下りると、くたびれ錆びれた鉄のドアがある。男がきしむそのドアを開けると、今夜も、気怠いジャズが流れてきた。

カウンターの手前では、二人の酔いどれが、どちらが酔っているのか、ボトル一本を賭けていた。あご髭がめっきり白くなったマスターにひと声かけると、男は、カウンターの奥に座った。マスターはいつものように、ショットグラスに大きな氷を入れ、オールドクロウのボトルを男の前に置いた。男は、その傍らに、キャメルフィルターとスターリングシルバーのジッポーを並べた。

五杯目のロックを飲み干し、ジッポーのホイールを五回まわして五本のキャメルを喫ったところで、ようやく女が現れた。

「同じでいいのか」「ええ」

マスターがふたつのショットグラスに大きめの氷を入れると、男は、オールドクロウをなみなみと注いだ。二人は、グラスを軽く合わせる。男は一気にあおり、女はグラス半分くらいを飲む。

「おいしい」

女のこの酒の強さは、男に馴らされたものだ。どちらのグラスも空になると、女が作った。男は、今度は味わうようにゆっくり飲んだ。

「おまえに作ってもらうのも、今夜が最後だな」

「そうなるの」

「そうならざる得ないだろう」

「どうしても、許してくれないの」

男は答えるかわりに、キャメルをくわえた。すかさず女が、バックからスターリングシルバーのスリムジッポーを取り出し、ホイールを回した。ジッポーの炎が、男の横顔を照らし出す。怒りという嵐はすでに去り沈静化しているようだった。

「許してはくれないのね」

肺を駆け巡らせた煙を、男は、おもいっきり吐き出した。

「あいつが、俺の昔からの親友だったこと、わかっていたんだろう……それなのに、どうして……」

煙を吐き出しながら、男がもう一度強く言う。

「どうして」

「だって、あの人、あの時、とても可哀想に見えたの」

「男が可哀想に見えたら、おまえは誰とでも、ああなるのか」

「わかんない」

女はスターリングシルバーのスリムジッポーで、セーラムに火を点けた。

「わかんないって……そんなことって、あるか」

女の鼻から煙が緩やかに流れ出て、涙も緩やかに流れ出た。

「タバコなんかやめろよ。女がバーボンをロックなんかで飲むなよ。泣くなよ。いまさら泣いたって」

「泣いてなんかいないわよ。タバコの煙が、煙が目にしみただけよ」

「煙が……目にしみただけか。そうだろうな。スモーク・ゲッツ・イン・ユワ・アイズでも、リクエストしてやろうか」

マスターにリクエストをすると、男は一気にオールドクロウをあおり、きしむドアを開けて出ていった。

ちょっとした沈黙があってから、ダイナ・ワシントンの『煙が目にしみる』が、忍びこむように流れてきた。女は、溶けかかった氷の入ったグラスのオールドクロウを一気にあおった。

女がつぶやく。

「俺の友達だからやさしくしてくれって言ったじゃない。おまえには、タバコがよく似合うって言ったのはあんたよ。そして、このジッポーを買ってくれたんじゃない。バーボンを水割りなんかでごまかすな。ロックに限るって言ったのはあんたじゃない。それなのに……。ジャズだって、あんたが聴かせてくれたんじゃないの」

女は、愛おしむように銀色に輝くジッポーを撫でた。

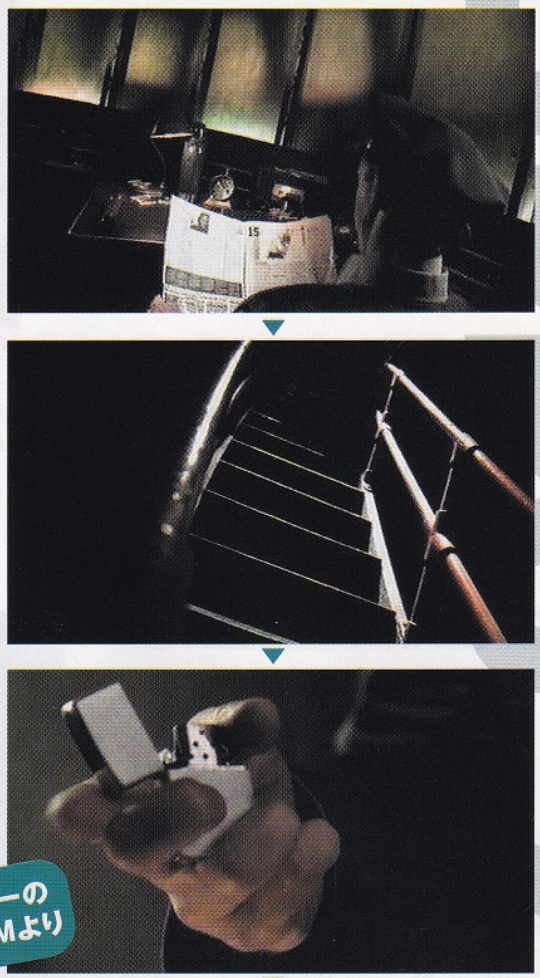
「ねえマスター。もうその歌やめて、お願い。それよりも、いつものお願いしていい。サニー・サイド・オブ・ストリート……でも、今夜は歌わないわよ、まだ酔っていないから」

女は、ジッポーのホイールをまわし、セーラムに火を点けた。

「コルトレーンのバラードのほうがよかったかしら。マスター、ほんとよ、煙が目にしみただけなの」

菊地昭典（きくちあきのり）
作家・脚本家　一九四七年仙台市生まれ。『遥かなるダモイ』（文化庁芸術作品賞）、映画『長江』（日中合作）他、数多くのテレビ・映画のドラマ、ドキュメンタリーを手がける。愛用のジッポーは、デス・バレー。

「自由の女神」のトーチに着火



ジッポーの新作CMより

ジッポー本社の新作CMは、「ナイト・ウォッチマン」編30秒。ある夜更け、「自由の女神」の夜警が新聞を読んでいる。外は、にわかに強風。トーチの明かりが消えたのか。夜警はキーとライターを手にし、警備に出る。屋上バルコニーに到着。すぐにジッポー・ライターのキャップを開き、カチン、シュパッと一発着火を見せる。すると女神のトーチから赤い炎が燃え上がるというシンプルなCM。セリフのない世界共通版。まさにアメリカン・クラシックとして世界にアピールするものだ。

使用ライターは、大定番の#200(ブラッシュクローム仕上げ)。ニューヨーク・スカイラインの夜景も美しい。

このCM撮影は本年二月、ピッツバーグのアレゲニー測候所で行われ、自由の女神とバルコニーは、原寸セットを特製。使用した「自由の女神」は本社スワップミートで特別展示され、同時に「自由の女神シリーズ」として表面プリント、ラスター・エッチ、レーザー彫刻、コンピュータ彫刻の四種のライターが「クリック・クラック」缶入りで発売された。

CS特番「Zippo Club」放送開始

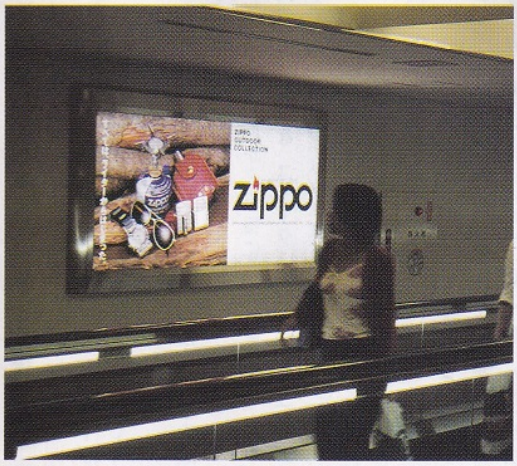
Zippo Club


出演ミッキー・カーチスほか

この秋から、ジッポーのスペシャル番組がCS系ショッピング・チャンネル「モール・オブ・ティー・ビィー」で放送される。タイトルは「Zippo Club」。内容は、ライターからファッション・グッズまでの最新アイテム紹介、ジッポー・ストーリー、スワップミート、関係者インタビューなど盛りだくさん。「ZIPPO HOT NEWS」のテレビ版ショッピング・バラエティとなっている。

番組はSKY PerfecTV!の221ch(二十四時間無料)、および全国一八一局のケーブル・テレビで楽しめる。十月から十二月まで月間十本、延べ三十本放送予定。番組ガイドは、モール・オブ・ティー・ビィーのホームページ(http://www.mot.co.jp)、またはFaxBox(03―3662―2200・06―6411―1700/チャンネル番号221を入力)でも入手できる。この番組を見落とすファンは、コレクター失格!

成田空港にジッポーの大型電飾パネル登場



さる六月六日から新東京国際空港(成田空港)に、ジッポーの大型電飾パネルが掲出されている。「すべては、ライターからはじまった」とアウトドア・ギアを紹介するもので、天地一・二メートル、左右二・七メートルの横長スタイル。ところは第二ターミナルのサテライト二階・到着口ビー(制限エリア)の動く歩道の途上にお目見えした。

国内航空会社を中心に使用されているサテライトであり、旅行者の目に留まるチャンスも多い。早耳のファンは、すでに「記念写真」を撮り終えている。いわく「旅行から帰国した面々が、ジッポー・ライターを見て、やっと禁煙解除でタバコが吸える」と合図を送っているとか。ジッポーの大型看板は、一宮付近に設置された第一号につづき、これで二ヶ所目。

頑小物 No.4

フィクスイット®の話

文・きとうひろし（Collector/Historian）



「ガッ！」。鈍い音を立てた瞬間に、僕のジッポー・ポケットナイフの小さなブレード（刃先）は折れ曲がってしまった。

普段から使い慣れていることで調子に乗って、スチール製のケースを非力な道具で無理にこじ開けようとした僕がいけなかったのだが、壊してしまったことの後悔と同時に次は何を買おうかなどと気まぐれなユーザー心はワクワクしていた。今度は同じ過ちを繰り返さぬよう反省しつつ「より頑丈でタフな」道具を探すことを決め、その一週間後、僕はジッポー社から発売されている「フィクスイット®」を買った。

ジッポー製品なのに日本ではあまり聞き慣れない道具だが、簡単に説明すると「ナイフ付きのドライバーセット」という具合のものだ。2種類4本のねじ回しと、小型ながら本格的な切れ味を持つナイフ・ブレードをスライド式に収納する長方形の黒いケースは各ツールのハンドル（とっ手）を兼ねており、とても頑丈に作られている。ポケットに入れるには重すぎて携帯には不向きだが、「小さな道具箱」として常備しておくことで以前よりも役に立っている。

決して万能ではないこのフィクスイット®は単純に「切って、削って、ゆるんだネジを締めて、えぐって、曲げる」だけの仕事を確実にやってくれる。このシンプルさがいい。世の中には万能ツールと呼ばれる道具がいくつもあるが、万能たるゆえに「使わない」部分が最初から備わったものが多く、僕はその無駄がいつも気になっていた。何年経っても使わない部品を持った万能ツールよりも、「必要な時にだけ役に立つ」このフィクスイット®の存在が僕は大いに気に入っている。

壊してしまったジッポー・ポケットナイフはまだ僕の「ジャンク箱」の中に転がっている。ライター同様に、ジッポー本社に返送すれば無料で修理してくれることは承知しているが、「確実に仕事のできる道具」を選択する大切さを僕に教えてくれたこの「壊れたままのジッポー製品」にまだ愛着を持っており、修理に出すかどうか今も迷っている。

一万人のドッジボール大会をアシスト

BIGドッジ2000 IN ナゴヤドーム
NAGOYA DOME
1万人のドッジボール大会

燃える炎が動きだす。この十一月十二日（日）に開催される「第四回BIGドッジ2000inナゴヤドーム」（主催／日本ドッジボール協会／中日新聞／東海テレビ放送／ナゴヤドーム）に、ジッポーがオフィシャル・スポンサーとなり、若きスポーツ・スピリットをアシストする。アマチュア・スポーツでは、唯一で最大級のイベント。

ナゴヤドーム全面を使用したゲームは、九時から四二〇チームで予選を開始、決勝トーナメントで優勝を争う。同日はジッポー杯トーナメントも予定されており、企画も盛りだくさん。一般の部ではジッポー・ロゴが躍動し、大型映像ではCM「ナイト・ウォッチマン」（別項紹介）が日本初公開。くわしい問い合わせは、中日新聞社社会事業部（TEL 052―221―0955）まで。応援熱烈歓迎。

ショップ主催イベント盛況

名古屋のジッポー・ショップ「有花里」では五月十四日、名古屋駅近くのアトリエツバキハウスで「第一回ジッポー・アウォード」と銘打ったスワップミート中心のイベントを開催し、二〇〇名におよぶファンを集めた。

出展者は三十名で、東京、大阪からも参加。それぞれの自慢のモデルを売る人もあり、見せる人もあり。これには関係各社のスタッフも会場入りし、愉しい時間を過ごした。これはショップ単独企画としてははじめてのことで、その盛況ぶりに小原社長もほっと一息。次回の企画も進行中。



「定禅寺 ストリート・ジャズ・フェスティバル」オリジナル・ジッポー発売

宮城県仙台市で、九月九日、十日に催された「定禅寺 ストリート・ジャズ・フェスティバル」。ステージは杜の都のシンボルである、美しいケヤキ並木の定禅寺通りなどの街路や公園で、参加バンド数はなんと五二〇、総ステージ数六十二という、世界最大級のストリートライブの音楽祭である。東北や関東からの参加が多いが、アメリカ、フランス、オーストラリアからのプロのジャズマンも出演している。

十周年を迎えた今年、実行委員会では、一〇アニバーサリーのオリジナルジッポーを発売した。ブラッシュ・クロームに、ポスターと同じロゴをエッチングしたデザイン、限定ナンバー入りを参加ミュージシャンに先行予約。好評のため、会場でナンバーなしも四千円で追加販売した。



10thアニバーサリー・オリジナル・ジッポー



信頼のジッポー・ブランド

—Lifetime Guarantee—



崔　海圭（チェ・ヘキュ）
（韓国輸入代理店／新明物産株式會社・代表理事）

この小文を書くにあたり、私はジッポー社との取り引きを振り返ってみた。果たして何が現在のジッポーをつくり、支え、何が未来をつくっていくのかをじっくり考えてみた。

製造業に三十年以上携わってきた私の経験からいえば、製造会社には多くの困難がある。とくに時代ごとにやってくる外部的環境に対処し、十人十色の消費者志向にあわせ、それに対応した製品を計画、生産、販売するということは並大抵のことではない。製品のライフサイクルは数年であり、十年～二十年を超えるのはむずかしい。

ジッポー・ライターには、世界でも類例のない生涯品質保証（Lifetime Guarantee）がついている。その創造的精神と自信を、六十八年間、変わらぬ製品コンセプトで市場を引っ張っていることは、私に大きな信頼を刻んでくれている。この一貫性こそが時代を超えた生命力のある数少ない製品に育てた源泉であり、私が韓国でジッポーの事業をはじめようとした根元であった。たとえ短期間でも韓国で体系的に紹介し、販売をはじめようとした、もっとも大きな力は、まさに「ZIPPO」という名が与えてくれる「信頼」であった。製品を見なくともブランドの名前だけで感じることのできる力がジッポーにあったのである。

その六十八年間も変わらない製品の自信に加え、もうひとつの重要な点は、本社工場のあるこぢんまりとした故郷・ブラドフォードの人々が与えてくれる情愛の深さが伝えてくれる信頼である。つねに筋がまっすぐで、変わることのない十分な信頼。これをよりいっそう切実に感じたことを紹介したい。

もとより韓国での売上は微々たるものだったが、弊社が参画した初年度の一九九三年に輸入販売額はその六倍に達した。これは、私たちが蓄積してきたノウハウもあるとはいえ、最高ブランドの製品を販売するという信頼なくしては不可能だった。よりいっそう自信をもって販売にのぞみ、三年連続一〇〇％以上成長。四年目の一九九六年夏には、全国の主要卸売商の社長十五名を同行し、ジッポー本社訪問を果たした。ジッポーを販売している人たちに製品の生産過程、会社の哲学と雰囲気を直接見せることで、私が受けたジッポー社の印象を伝えたかったのだ。ジッポー社では親切な説明を受け、実の家族のように歓迎されただけでなく、ナイアガラの滝まで案内いただき、有意義な時を過ごすことができた。その年、私たちはすべて一丸となり、ジッポーの最高売上を記録した。



ところが、一九九七年後半、アジア全般におよぶ外国為替危機を経験することになる。不幸は重なってやってくるというが、一九九八年二月、倉庫で火災が発生した。ジッポーの在庫は通常より多く、大きな製品損失を受けた。IMF経済危機で為替相場が二倍以上になっていたが、これはジッポー社との約束を守るためにそのまま輸入したからである。韓国のすべての会社は生き残ることが苦しいときで、消費は極度に萎縮しており、火災の被害はよりいっそう大きく感じられた。

緊急修復をして何日か経ち、このことをジッポー社に知らせたとき、本社輸出部長、デイビッド・シームア氏と日本代表、岡本信義氏が施してくれた実質的な援助はとても大きな力となった。ご両氏はソウルに入り、復旧作業と助言を惜しまず、心をひらいてくれたのである。また、取引先の方々にも自身のことのように支援し、心配していただいた。このとき、私と職員たちは「ZIPPO」という信頼が、ジッポー社と私たち、卸売商、消費者との間をどれだけ固く結んでくれているかを感じることができたのである。

火災事件を乗り越えた私たちは、ふたたび「ZIPPO」という信頼の絆でひとつになった。私と職員たちも事件を通し、ふたたび初心に戻ることができた。ジッポーをはじめようとしたときの情熱、そしてジッポー・ブランドから感じた信頼を、私たちは卸売商と消費者に伝えようと努力してきた。まさに、その初心を感じ取ることができたのである。

これまでが韓国市場に信頼の芽を育ててきた過程とするならば、これからは手入れをし、摘み取る時期である。これは全世界にいるジッポー・ファミリーがひとつになっていく過程と思うのである。

コレクター登場

小さな箱



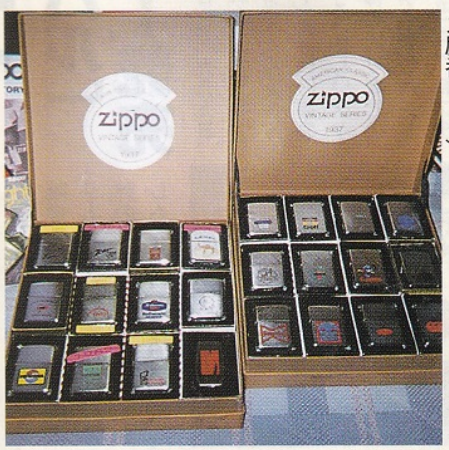
井上道玄氏

確かあれは一九八〇年頃のことでした。誕生日に、友人から小さな箱に入ったライターをもらいました。箱を開けてみると、銀色のオイルライターが入っていました。これが、私とZIPPOとの出会いです。手になじむ手頃なサイズで、「コレクションするなら、これだ！」と思いました。

それからは企業物を中心に、コレクションをはじめました。集めるにあたって、私は「足で集める」を基本としています。当時は、企業物といっても現行品、それも200番を中心に収集をはじめました。「ZIPPO」の口ゴが入っていればなんでもよく、ライターにはじまり、今ではキーホルダー、オイル缶、Tシャツなど、いろいろあります。今でこそ多くの品が出回っていますが、八〇年頃には品薄で、カタログを代理店に請求したこともあります。

これからも、いろいろなものを「足」で捜すつもりでいます。また、コレクターのみなさんとも積極的に交流していきたいと思っています。

（お便りは、東京都目黒区鷹番1-6-19 ハウス鷹番606）

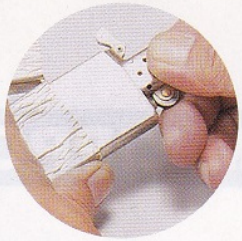


紙上ジッポー・クリニック

インサイド・ユニットの注意刻印をよく読んで、安全使用を。

指導／遠島栄利（ジッポー・サービス）

一九三三年の誕生以来、数多くの伝説を歴史に刻んできたジッポー。そのインサイド・ユニットには、使用上の注意を促すふたつの英文が記されているのをご存じですか。それぞれ文章は同じだが、製造年代によって書体や文字の大きさ、レイアウトなどに違いが見られる。また、製造年度が刻印されるようになったのは、一九八二年以降のこと。インサイド・ユニットの注意刻印をよく読んで、安全な使用を心がけてほしい。



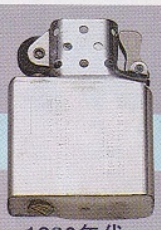
ケースからインサイド・ユニットを引き抜く。

安全注意表記の変遷



1976～81年モデル

"LIGHTER DOES～"が上にレイアウトされている。



1990年代モデル

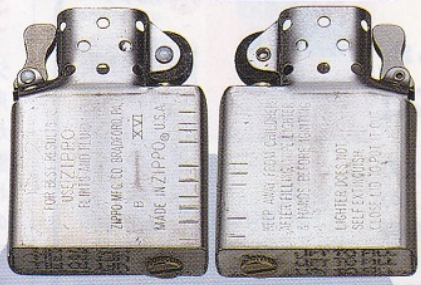
"KEEP AWAY～"が上にレイアウトされるようになる。



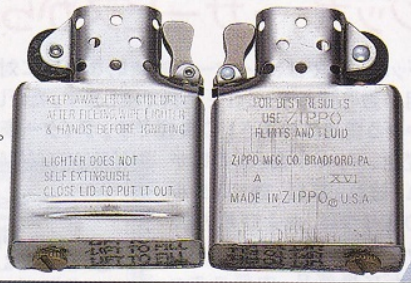
1999年モデル

文章のレイアウトは同じながらも書体と文字の大きさが変更され、より見やすくなる。

インサイド・ユニット2000年前期モデル



インサイド・ユニット2000年後期モデル



せりあがり防止機能付インサイド・ユニットが新しくラインアップ

2000年後期モデルから、せりあがり防止機能付インサイド・ユニットに変更された。このタイプのインサイド・ユニットの下部には、ケースからのせりあがりを防ぐための出っ張りがついている。

KEEP AWAY FROM CHILDREN AFTER FILLING, WIPE LIGHTER & HANDS BEFORE IGNITING.

LIGHTER DOES NOT SELF EXTINGUISH. CLOSE LID TO PUT IT OUT.

オイル注入後は子どもの手の届かない所に置き、着火前にはライターと手を拭いてください。

ライターは自動消火ではありません。ふたを閉めて、消火してください。

FOR BEST RESULTS USE ZIPPO FLINTS AND FLUID

純正の発火石とオイルをご使用ください。

LIFT TO FILL ～オイルの注入方法～

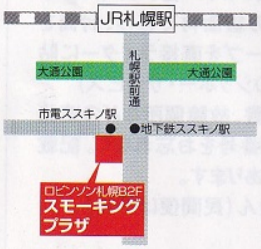
1 "LIFT TO FILL"（注入のために持ち上げる）と書かれている面を上にしてください。



2 フェルト・パッドを持ち上げ、中のレーヨン・ボールに直接オイルを染み込ませてください。また注入後は、フェルト・パッドを元に戻してください。



ZIPPO SHOP TOUR



AM10:00～PM9:00
定休日／月1回火曜日不定休



●札幌
スモーキングプラザ

〒064-0804
札幌市中央区南4条西4丁目
ロビンソン札幌店B2F
☎011-553-3101

東北以北、最大の歓楽街・ススキノの中心部に位置し、北海道唯一のジッポー専門店として、オールドジッポーから現行品、オリジナル、一品物までを取り揃えています。とくにオールドは四〇～六〇年代を中心に、ファースト、セカンドモデルなども展示、販売しています。また、ネーム入れ無料サービス、オリジナルジッポーなど、お客さまのご要望にもお応えしています。

今後はインターネットを使って、お店の情報なども掲載していく予定です。お楽しみに。



AM10:30～PM8:00
定休日／毎週火曜日、第三水曜日



●名古屋
ファイヤーライト

〒467-0066
名古屋市瑞穂区洲山町2-32
アラタマターミナルビル1F
☎052-859-2876

中部地区最大級の在庫数を誇るジッポー専門店のひとつ。他のオイル、ガスライターは一本もなく、小物もジッポーブランドのオンリーショップ。アメリカの定番からヨーロッパでの加工もの、日本のもの、現行品からヴィンテージ、通販でしか手に入らないものまで、常時四千本以上の在庫を店内所狭しと陳列しています。

訪れる客の六割以上が女性で、上司や彼氏へのプレゼントとして利用しているのも大きな特長。地下鉄・新瑞橋駅のすぐ上、バスターミナル横のビル1階。



AM10:30～PM8:00、日・祝／AM10:30～PM5:00
定休日　なし



●大阪
Rocky

〒530-0001
大阪市北区梅田1-1-3
大阪駅前第3ビルB2F
☎06-6343-0390

交通便利な大阪駅前ビルにある喫煙具専門店。ZIPPOに関しては、現行品、アンティークを含め三、〇〇〇種以上の在庫があり、当店でしか販売していないオリジナルZIPPOもあります。当店は会員制というシステムを行っており、入会金五〇〇円で会員になれば、さまざまなサービスが受けられます。

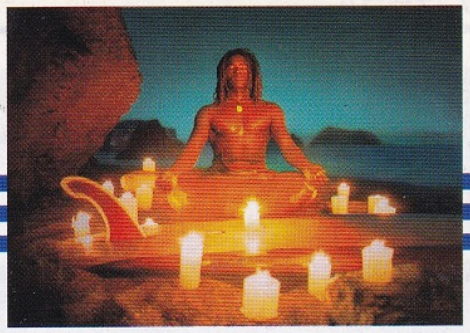
オープンして三年あまりと歴史は浅いですが、親切・丁寧をモットーに心がけていますので、ぜひ一度お立ち寄りください。心よりお待ちいたしております。

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE
ジッポー・ホットニュース・スペシャル 2000秋冬号
Vol.5

© 2000 ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
Printed in Japan 禁・無断転載

発行日／2000年10月1日 発行／ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー日本代表部 〒453-0022 名古屋市中村区中島町4-4 発行人／岡本信義 編集／加藤知之 制作／協同広告（株）名古屋支社 協力／伊藤商事（株）／マルカイコーポレーション（株）／伊藤忠ファッションシステム（株） ☎052-961-6611

FROM ZIPPO

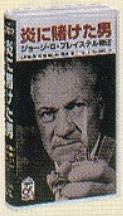


1999年の全米キャンペーンより

PRESENT ライターをお求めのチャンス!



Ⓐ カレンダー
※試作デザイン



Ⓑ ビデオ
「炎に賭けた男」

いま、ジッポー・ライターをご購入の方に、ごらんのオリジナル・グッズのうち1点を抽選でプレゼント。Ⓐ特製「ジッポー2001年カレンダー」（7シート／1,000名）Ⓑ創業者の生涯を描くビデオ「炎に賭けた男」（48分／300名）Ⓒ日本でのジッポーの雑誌広告集「ZIPPO MAGAZINE ADVERTISING IN JAPAN」（B5-64p／100名）★ご希望の方は、ライターに添付されている日本語版保証書のオイル缶イラストページ（写真右参照）をハガキに貼付し、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、および希望商品（A、B、Cのいずれか）を明記のうえ、下記のジッポー・サービス（名古屋）までお送りください。12月末日消印有効。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



★ジッポー・ライターの無許可加工および販売について

最近、無断でジッポー・ライターに有名ブランド・ロゴをつけた不法加工モデルを小売店頭などで見受けます。これらは各ブランド所有者に対してはもちろんのこと、ジッポー社に対しても商標権の侵害、ならびに不正競争防止法にふれる行為になり、刑罰の対象になります。ジッポー・ライター関係各位におかれましては、ジッポー製品をお取り扱いの際は、必ず上記の法律をご認識くださり、万が一にもお間違いのなきよう、特別のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

★本誌の定期購読をご希望のみなさまへ

「ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE」の定期購読をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、ジッポー・サービス（名古屋）「HOT NEWS」係までハガキにてお申込みください。初回（VOL.6）送付時に専用の郵便振替用紙を同封いたしますので、郵送手数料1,000円（年2回／税込）をお振込ください。

ジッポー・サービスからのお願い

ジッポー社では、ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で直します。ただし、当社への郵送にかかる費用はお客さまの負担です。ライター表面のキズ、へこみ、変色、メッキ不良、革のはがれ・破れ、摩耗、飾りメタルの取りつけ、および他社製ライターは修理できません。また交換部品、内部ユニットは新品を使用しますので、ご了承ください。



●修理を依頼するまえに

①純正発火石、オイルが入っていますか。
②芯は消耗品、販売店で購入ください。装填方法は簡単で、内部の綿をすべて取りだし、芯を入れ、長さは風防ガード上部くらいに合わせます。残りを内部に詰めながら、バランスよく綿を詰めればOK。なお、綿は市販の布団綿、純綿でも代用できます。

●修理品の送付方法

①綿に残っているオイルは必ず抜き取り、完全に蒸発させます。
②郵送にはライター（化粧箱、飾り付属品、オイル缶、ギフトボックスなどは同封しない）をティッシュなどの緩衝材で包み、封筒を二重、三重にしてください。そのときテープを直接ライターに貼りつけないこと。（送付先／下記記載のジッポー・サービス）
③修理品とともに、必ず日本語併用保証書、故障個所などの連絡メモも同封ください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。記載もれのある場合は返却できない場合もあります。
④郵送以外の方法では受け付けできません（民間便は不可）。
⑤貴重品は簡易書留で郵送ください。

★ライターの正しい使い方

①オイル注入直後は、十分注意。入れすぎの場合は、ティッシュなどで必ず拭き取る。また、火気に注意してください。
②点火使用後、キャップを完全に閉じ、消火を確認する。

くわしい情報を入手するなら

［ホームページ］アメリカ本社版 http://www.zippo.com　日本版 http://www.zippo-japan.com
［ＦＡＸ情報］FAX.03-3436-6090　音声ガイドにしたがい、希望する情報BOX番号を指定する。インデックスは「0000」。
［輸入代理店］●ライターのお問い合わせ／伊藤商事（株）☎03-3562-5811／マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072
［ライター修理］〒450-8691 名古屋中央郵便局私書箱233号・ジッポー・サービス
〒111-8691 東京浅草郵便局私書箱47号・ジッポー・サービス東京のいずれかに送付ください。
●このほかジッポー製品は各種あります。本誌記載の表示価格は、2000年10月1日現在の税抜き標準小売価格です。

お問い合わせは…